

津市立ハツ山小学校だより

# この学校にわたしたち

2023. 7. 5

N020

## 大人は自発的な活動を支援する存在…



「お母さん 何にもないけど よんでみたの だってだいすきなんだもん」(写真はイメージです)

随分前にどこかで見かけた小学生の低学年の女子の詩です。とても短い詩で私の頭の中でも残っていました。(ここでは母となっていますがこれが父であっても変わりありません。)この詩は子どもが本来持っている気持ちを素直に表していると思います。イタリアの教育家モンテッソーリは幼児教育に関する方法を見出した

人です。「子どもは自らの中の内に自分を成長させる力をもっている。大人はその要求を受け止め、自発的な活動を支援する存在であるべきだ」と言っています。これは幼児教育だけに限ったことではないように思います。ハツ山小学校は令和6年度から津市が幼保の5歳児と小学校1年をつなぐカリキュラム(架け橋プログラム)について全小学校区で実施していくのに際し、本年度津市内4校の研究校として指定を受け、検討をしています。具体的には子ども園の園児の姿を観察したり、子ども園の保育士さんと合同で話し合ったりしながら、園と小の子どもたちの姿の情報共有を行っています。

ある日の夕方、私は所用があって子ども園に行った時、園の遊具で楽しそうに遊んでいる園児とそれを見守っているお母さんの姿が目に入ってきました。何かと忙しい夕方の時間ですが、このお母さんは優しい目で子どもが遊んでいる姿を見守ってみえてすごいなあと感じました。

この子はしばらく遊具で遊んでいましたが、満足すると自ら車の方に向かっていきました。きっと満足したのでしょう。家に帰ってご飯を食べる時に今日あったことをいっぱい話してぐっすり眠るのではないのでしょうか。忙しく時間のない時にいつもいつもこういう風にできないと思います。でも、子どもが安心できたり、意欲的になるためには、“子どもが遊びたい遊びをしっかりとできて満足する“ということが大切なんだなあと感じました。それが上述したモンテッソーリの言わんとすることなのだと思います。園児の様子を見たり、園の職員と話していると子どもの見方や考え方について大変勉強をさせていただくことが多いです。今後も交流していきたいと思います。

## プール水泳の監視ボランティアさんに感謝

今年度からハツ山小学校と家城小学校のプールの共用化をしながら水泳指導を行っています。保護者の方の監視ボランティアさんにご協力いただき、順調に水泳指導ができています。大変、有難うございます。

